

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名【新】ユニバーサルツーリズム推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111(内3915)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,000	0	0	0	0	0	0	0	9,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県が世界から「選ばれる旅先」となるには、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、誰もが安心して旅行を楽しめる環境整備が求められる。

また、2024年「清流の国ぎふ文化祭」や2025「ねんりんピック岐阜大会」では、障害者や高齢者をはじめ多くの方が本県を訪れることが見込まれることから、専用Webサイトや配慮が必要な方向けの観光PR冊子等によるきめ細やかな情報発信を行うとともに、心のバリアフリー化に向けた県民や観光関係者の理解促進を図ることにより、「誰もが気兼ねなく訪れられる旅先」をめざす。

(2) 事業内容

- ①ユニバーサルツーリズム普及啓発事業(4,366千円)
- ②要配慮者向け観光PR冊子の制作(2,990千円)
- ③Webサイト運営・管理、バリアフリー状況調査等(1,644千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県内全体を対象にしており、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	63	プロポーザル評価委員謝金
旅費	109	プロポーザル評価委員交通費、職員旅費
委託料	8,828	普及啓発セミナー、情報発信、協議会の開催 等
合計	9,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④観光産業の基幹産業化

第3期岐阜県障がい者総合支援プラン

3 福祉のまちづくりの推進

(1) ひとにやさしいまちづくりの推進

(2) 国・他県の状況

- ・「バリアフリー観光」に関する予算の有 22団体/47団体
- ・「バリアフリー観光」に関する調査の有 15団体/47団体

(3) 後年度の財政負担

誰もが安心して県内を旅行できる環境を整えることは、SDGsの理念に即した取組であり、県として必要な事業である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

2024「清流の国ぎふ文化祭」や2025「ねんりんピック岐阜大会」に向け、誰もが安心して県内を旅行できるよう、きめ細やかな情報発信や、県民、観光関係者の心のバリアフリー化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①観光消費額		1,721億円	2,400億円	2,900億円	3,300億円	52.2%
②観光入込客数 (実数)		3,842万人	4,000万人	4,800万人	4,900万人	78.4%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念に即し、多様化する観光ニーズに応えることは、県の責務であり、県の関与は妥当
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 多様化する観光客のニーズに応えるため、心のバリアフリー化に対する観光関係者の理解促進が必要

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 2024「清流の国ぎふ文化祭」や2025「ねんりんピック岐阜大会」に向け、継続してユニバーサルツーリズムの推進に取り組む。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】